FIELD RIDING GAME

MOSACCHI 1.0

RULE BOOK

All right reserved FIELD RIDERS CLUB

2025.1.31

【はじめに】

　MOSACCHI（モサッチ）は、FIELD RIDER（外乗愛好家）のスキルアップや、練習成果としてのスキル披露を目的にしたFIELD RIDERの為の、主に馬場外において人馬で楽しむGAMEです。

さらに、FIELD RIDING（野外騎乗）を通して、単なるグループ外乗では味わえない、人馬でワンランク上の『人馬一心体』を感じることを目指すGAMEです。

【MOSACCHI 1.0の概要】

MOSACCHI 1.0は山梨県馬術競技場で実施するMOSACCHIシリーズの導入バージョンです。

　そもそもMOSACCHIは単純な走行スピードを競いません。

　２つのGameをクリアしていき、最後に獣医師による馬のリカバリー（疲労回復）状態をチェックする検査をクリアした人馬が、GAME MOSACCHI 1.0をコンプリート(COMPLETE・完成)したことになります。

　各Game中にGAME OVER（失権、以降G.Oと表示）になる場合や、自らRETIRE（棄権）した場合は、GAME MOSACCHI 1.0インコンプリート(INCOMPLETE・不完成)となります。

　各Gameにおける成果をそれぞれポイント化して合計し、自ら申告するベースポイントに加算して、フィールドライディングにおけるパフォーマンスのレベルを数値化します。

MOSACCHI 1.0はMOSACCHIシリーズの導入バージョンですので、多くの方に気軽に参加してもらえるよう、1st.Game アリーナ ライディングなどハードルが少し高いと思われるものは実施しません。

【MOSACCHI 1.0　ポイントについて】

　トータルポイントがより高い人馬がフィールドライディングにおけるパフォーマンス・スキルが高いと認識できるように構成されています。

基本的な構成は、ベースポイントに2nd.Game、3rd.Gameのポイントを加算減算します。

【各Gameの概要】

**1st.Game アリーナ ライディング　MOSACCHI 1.0では実施しません**

**2nd.Game フィールド ライディング**

　複数の野外ハザード（障害物・課題など）がある約8kmを『ワンセット』としたフィールドライディングです。制限時間内に走破し、そのタイムをポイント化します。いずれのハザードも普段のフィールド ライディングに出現するハザード、もしくは、人馬の安全を担保するために必要なスキルをチェックするハザードです。

**3rd. Game プレゼンテーション**

　走行後の馬へのケアと馬のリカバリー度（疲労回復度）を獣医師等がチェックしポイント化するとともに、人馬のリーディング（人間が馬をリードして引馬する）スキルをポイント化します。

　獣医師の判定により、規定時間以内（20分以内）に馬の体力が一定程度以内に回復できていない場合は、G.Oとなります。

【§1実施種目】

以下の4種目とします。

1. Advance Ride A　走行距離：32Km　（8km×４セット）
2. Advance Ride B　走行距離：24Km　（8km×３セット）
3. Basic Ride A　　 走行距離：16Km　（8km×2セット）
4. Basic Ride B　　 走行距離：8Km　 （8km×1セット）

【§2参加資格】

　各種目への参加に際しては、各Gameを全て同一人馬（コンビネーション）でエントリーし、チャレンジすることを必須とします。

§2-1参加ライダー：以下の①②③または①②④を満たす者とします。

1. 14歳以上の健康な者とします。但し、未成年者は親権者の同意が必須とします。
2. 馬上で携帯電話（スマホ等）を無理なく操作できる者とします。
3. 乗馬団体等に所属し、乗馬団体等の代表者が人馬コンビネーションの最低限の参加スキルを保証し参加を認めた者とします。
4. 乗馬団体に所属していない者（個人参加の者）は、全乗振馬場3級以上もしくは日馬連馬場C級以上の資格保有者とします。

§2-2 オープン参加のライダー

1. グループ走行をリードするためにエントリーしたライダーは、エントリー時にその旨を申告したうえでオープン参加ライダーとして参加することができます。
2. オープン参加ライダーは、ポイントスコアリングはせず、ベストパフォーマーズ賞等の受賞資格がなくなりますが、エントリーフィーは割引となります。

§2-3参加馬：種類は問いません。明け4歳以上の健康な馬とします。

但し次の条件が有ります。

1. 出血・跛行・馬具損傷・熱発している馬は、獣医師の意見を基にチーフジャッジ判断で参加が認められない場合があります。
2. 蹴り癖のある馬は尻尾に赤マークを、牡馬は尻尾に青マークをテープ等で表示してください。
3. 妊娠が明らかな馬、仔連れ馬は参加できません。
4. 山梨県馬事振興センターで推奨している軽種馬防疫協議会制定の馬インフルエンザワクチン接種をしてください。

<http://keibokyo.com/prevention/inoculation/>　（同協議会HPの防疫に関わるページ）

【§3ライダーの服装と装備】

§3-1ライダーの服装：FIELD RIDINGに適していないと判断される服装と、グレーゾーン  
の服装でもチーフジャッジの勧告に従わない場合は、G.Oになる場合があります。

NG例：スカート、ハイヒール、ノースリーブ、短パン、サンダル etc.

§3-2ライダーの装備

-1乗馬用（ウェスタンハット型ヘルメットも可）ヘルメット、または安全マーク付きの自転車用ヘルメットを必ず着用してください。着用しない場合はG.Oとなります。

-2連絡用の携帯電話・スマホなどを必ず携行してください。年少者等で携行しない場合

は事前申請し、主催者の許可を得てください。許可なく携行しない場合はG.Oになる

場合があります。

-3ゴープロ等の動画撮影器具の使用は、事前申請し主催者の許可を得てください。許可

なく使用した場合はG.Oになる場合があります。（スマホ、コンパクトカメラ程度は可

とします）

-4他チームや役員さん等第三者の写った映像・動画等をHP・SNS等ネット上にアップ

する場合は、アップ以前に必ず当事者の許可を得てください。（肖像権等に配慮して

ください）

【§4使用馬具】

以下に該当する馬具は使用・装着を禁止します。使用した場合とグレーゾーンなどの場合を含め、チーフジャッジの勧告に従わない場合はG.Oとなります。

1. 長さ70cmを超える鞭の携行。70cm以下の鞭の使用は認めますが、その際はエントリー時に申請が必要です。

ただし、準備運動時に使用する追い鞭は使用可とします。

鞭やレーン（手綱）の先で馬を乱打することは虐待にあたる行為としてG.Oとなります。

1. 拍車（及び類するもの）。
2. 馬の頭頚の動きを著しく制限する馬具。（ドローレーン、短いスタンディングマルタン、サイドレーン、チェーンなど）
3. 口内・口角などを過度に刺激・圧迫するハミ。

⑤ その他、人馬の安全を脅かす、または馬の虐待につながるとチーフジャッジが認めた馬

具。

【§5ポイントによる人馬の評価・賞】

1. 《ベスト パフォーマー賞》ベース ポイントと２つのGameのポイントを合計し、ポイント数が一番多い人コンビネーションに与えられる賞です。フィールドライディングにおけるオールラウンドなスキル・パフォーマンスが一番高いと評価されます。
2. 《ベスト プレゼンター賞》プレゼンテーション ポイントが、一番多いコンビネーションに与えられる賞です。ライディング以外のスキル・パフォーマンスが一番高いと評価されます。

【§6 ベースポイント】

1. エントリー時のライダーの申告により、ベースポイントを確定します。
2. エントリー後の変更は開催日の7日前までとします。
3. 加算ポイントに該当する事項が開催日当日に実行されない場合は、該当の申告ポイントはクリアされ、１項目につきペナルティー・5Pが減算されます。
4. 減算ポイントが開催日当日に実行されない場合でも、ポイントの変更はなく、ペナルティーポイントも発生しません。
5. 加算ポイント項目

《+10p項目》

1. フラットな場所で踏み台等を使用せず独力で騎乗可能。（石などコース上にあると想定される物の使用や、馬の保定など他者によるサポートなど全て不可）

スタート前や走行中にジャッジによるチェックがある場合があります。

1. エアバックの着用

《+5p項目》

1. ボディープロテクターの着用　（エアバックとの併用により+15P）
2. 籠付き鐙の使用
3. 減算ポイント項目

《-10p項目》

1. 鞭の携行

《-20p項目》

1,グループ走行でのエントリー

《ベースポイント例》

A:騎乗時に踏み台を使用（±0p）＋エアバッグ＋ボディープロテクターを使用（+15p）＋籠付き鐙使用（+5p）＋鞭を携行（-10p）＋グループ走行でのエントリー（-20）をしたライダーのベースポイントは-10p。

B:独力騎乗可能（+10p）、安全装具無し（±0）、鞭無し（±0）、単独走行（±0）を申告したライダーのベースポイントは+10p。

【§7 1st.Game アリーナライディング】　MOSACCHI 1.0 では実施しません。

【§8 2nd.Gameフィールドライディング】

§8-1 走行距離・騎乗スキルにより次の4種目に分けます。

①Advance Ride A　走行距離：32Km　（8km×４セット走行）

-1 走行制限時間4時間以内　　制限時間で走破した場合の平均時速:8.0km

-2 走行中1回以上、指定された野外ハザードを通過する必要があります。

通過は同一セット内でなくても可とします。

-3 最低１回の通過を怠った場合はG.Oとなる場合があります。

②Advance Ride B　走行距離：24Km　（8km×３セット走行）

-1走行制限時間　3.25時間以内　　制限時間で走破した場合の平均時速:7.4km

-2 走行中1回以上、指定された野外ハザードを通過する必要があります。

通過は同一セット内でなくても可とします。

-3 最低１回の通過を怠った場合はG.Oとなる場合があります。

③Basic Ride A　走行距離：16Km　（8km×2セット走行）

-1走行制限時間1.75時間～2.5時間　　平均時速:9.1～6.4km

-2 野外ハザードの通過は任意とします。

④Basic Ride B　走行距離：8Km　（8Km×1セット走行）

-1走行制限時間1時間～1.5時間　　平均時速:8.0～5.3km

-2 野外ハザードの通過は任意とします。

§8-2　4種目とも決められたコースを走行してください。

§8-3　4種目とも制限時間以内にゴールしなければ失権します。

§8-4　4種目とも歩法歩様指定ゾーン（歩度を詰めた速歩 歩度を伸ばした常歩）を指定

の歩様・歩度で通過する必要があります。

§8-5　Basic Ride AとBのライダーは、時間調整のために、レストエリア以外で馬を故

　　　意に停止させ、道草や休息をとるなどの行為をした場合、G.Oになる場合があり

ます。

§8-6　コース内では、進行方向を示す看板、または地上にラインマーカーでの矢印が表示

されます。故意に逆走やコースアウトをした場合は、G.Oとなる場合がります。。

§8-7　人馬の走行中、コース内へは許可されていない車両や人馬の立ち入りを禁止します。

§8-8　レストゾーン：コース内に参加団体ごとに指定・設置されます。

-1　レストゾーンではチームスタッフ等の支援を受けることが出来ます。

レストゾーン以外の地域、コース上ではオフィシャル以外からの支援を受ける

ことは、緊急時以外できません。馬具の損傷で騎乗できない場合は、レストゾ

ーンまで馬を引いて行ってから馬具の修理等をおこなってください。

　　　-2　共用の水を主催者がレストゾーンに用意します。

-3　レストゾーンにはジャッジが配置されます。ジャッジの指示に従わない者は、退

　　　　　去が命じられ、関係人馬はG.Oになる場合があります。

§8-9　応援ゾーン：コース付近に、観覧・応援ゾーンが指定・設置され、オフィシャル

が配置されます。ゾーン内ではマナーを守って観戦してください。

　　　-1　常識内の応援・拍手は許されますが、大声・罵声・怒声をあげる者はオフィシャ

　　　　ルにより退去されます。旗、鳴り物、拡声器等の使用・持込は不可です。

-2　テント等の設置は不可ですが、簡易椅子の持込は可とします。

§8-10　ジャッジポイント：コース上には、ジャッジポイントが設置され、ジャッジ等が

常駐します。

　　　-1ライダーとジャッジ等の会話（アドバイスなど）は可能であり、ライダーへの支

　　　　援は、ライダーからの要請があれば可能とします。

-2 落馬等の事故発生時には、ジャッジ等は積極に対応する必要があります。

§8-11　クロシング レーン：コース上には、一般道の横断歩道に相当するクロシング

レーンが指定されます。

-1 クロシングレーンではコースを横断する歩行者が優先されます。

-2 クロシングレーンの手前には、STOP LINEが表示されます。STOP LINEの手

前では必ず停止し、目視で前後左右の安全確認をする必要があります。怠るとG.O

となる場合があります。

　　　-3 競技場正門前については競技場に入場する車両がクロシング レーンを通過する

場合もあります。オフィシャル（誘導員）が常駐するので、指示に従ってくださ

い。

§8-12　人馬の追い抜きは、追い抜こうとするライダーが、追い抜かれる側のライダーに、

追い抜かれる意思があるか否かの確認を必ず励行してください。

無理な追い抜きを企図または実施したライダーはG.Oとなる場合があります。

§8-13　野外ハザードの種類：以下のハザードの中から５個以上を設定します。設定する

ハザードは、ハザードのサイズ含め実施要綱に記載します。

a.狭路クランク　b.暖簾くぐり　c.車庫入れ　d.倒木越え　e.落とし物拾い　f.ポスティング　g.スラローム通過　h.　水壕通過

【§9 3rd.Gameプレゼンテーション】

プレゼンテーションでは、獣医師による馬体検査（馬のメタボリック（代謝状況）・運動器官検査）と歩様検査を受け、全ての検査に合格したコンビネーションがMOSACCHI 1.0のコンプリートとなります。

併せて、ジャッジによるリーディングスキルチェックのGameも同時に行われます。

プレゼンテーションに臨むにあたり、チームゾーンで馬体のリカバリー（疲労回復）のためのケアをチームスタッフ等が馬に施すことができます。

§9-1 チームゾーン

　-1障害練習馬場内に、チームゾーンをチームごとに指定して設定します。

　-2スタート前の準備やプレゼンテーションに向けての人馬のリカバリーの為の区域です。

-3 馬場内に共用の水を、主催者が準備します。

　-4ゾーン内でのテント設営や火気使用はできません。

§9-2プレゼンテーション エリア

-1入場できるのは、プレゼンター（ライダー）とサポーター1名の計２名です。

-2サポーターはリード（引き手）・ホルター（無口）・手綱・頭絡や馬そのものに触れる

ことや、馬を追うことはできません。

§9 -3 心拍数　プレゼンテーション エリア入場後は速やかに心拍数測定を受けます。

-1馬の心拍数が14回/15秒間（56回/1分間）を上回る場合G.Oとなります。

-2 心拍数の計測は馬体検査中に2回まで許容され、低い数値が採用されます。

-3 心拍数の計測をする者（アシスタント）は、獣医師資格がなくとも可とします。

§9-4 馬体検査（メタボリック及び運動器官検査）

-1獣医師が触診等することで、検査項目ごとにA（良好）B（ごく軽微な問題あり）

C（許容範囲だが問題あり）D（重篤な問題あり・G.O）で判定されます。

-2 検査項目は別途定められ、8項目とします。

-3ポイント数（A:+5P　B:-2P　C:-５P　D:-30P）に反映されます。

§9-4歩行検査

-1獣医師による歩様検査とジャッジによる人馬のリーディングスキルチェックを兼

ね、予め決められたパターン（経路）をリーディングすることで、それぞれポイ

ント化されます。

-2鞭の使用は、ライディングで使用が許容されているライダーを含め不可です。

-3 獣医師による歩様検査はA（良好）B（ごく軽微なイレギュラーあり）C（許容範

囲だがイレギュラーあり）D（重篤なイレギュラーあり・G.O）で判定され、ポイ

ント数（A:+10P　B:-5P　C:-10P　D:-30P）に反映されます。

-4ジャッジ判定によるリーディングスキルチェックは、項目ごとにジャッジがA（良

好）B（問題あり）C（問題多）で判定し、ポイント数（A:+5P　B:-2P　C:-5P）

に反映されます。

-5リーディングスキルチェックは次の6項目とします。

　ⅰ 馬体検査中の馬の状態　（従順に不動の状態を保てるか）

ⅱ 常歩発進の質・常歩中の人馬の位置関係とペースの一貫性・馬の真直性

ⅲ 常歩⇔速歩への移行の質・速歩中の人馬の位置関係とペースの一貫性・馬の真直性

ⅳ 左右ターン時の人馬の位置関係の一貫性・馬の輪線軌道の正確性・四肢の動き  
ⅴ 停止の正確・従順性

ⅵ 後退発進の質と後退時の真直性

注：各項目ともリードの張り具合（テンション・引っ張り）とプレゼンター（ライダーと同一者）やサポーターが馬体・ホルター等に触れることは評価に影響します。

【§10 Gameごとのスタート・計測】

① フィールドライディング

-1 ライダーはエントリー時に単独走行又はグループ走行を選択できます。

-2 種目ごとにスタート順が決められます。

-3 ４種目内では単独走行 ⇒ グループ走行の順となり、単独走行は１人馬ずつ一定間隔

おきにスタートします。

人馬ごとのスタート順とスタート時刻は主催者が遅くとも二日までに発表します。

　-4 グループ走行を選択した人馬は、スタートからゴールまで同一グループで走行しなけ

ればなりませんが、トレーニング目的などで途中から離脱することは可とします。

　-5 単独走行を選択した人馬が、他の人馬と結果的に一緒に走行しても可とします。

　-6 走行時間は、指定されたスタート時刻からゴール時刻までの時間とします。

　-7 ゴールの認定は、馬体の一部がゴールラインを超えた時刻とします。

-8 走行時間が制限時間から外れた場合、G.Oとなります。

但し、ライダーの希望でそのまま走行を続け3rd.Gameに進みたい場合は、チーフジャッジの許可を得た上で可能となる場合があるのでその旨チーフジャッジまで申告してください。

　-9 走行時間は秒数を切り捨てし、分単位にしたうえで最終制限時間との差をポイント化

します。

　　　例：Basic Ride B（最終制限時間・1時間30分）のライダーの走行時間 1時間13分

24秒の場合、24秒を切り捨て、60分＋13分=73分　90分-73分=17分

17ポイントとなります。

② プレゼンテーション

-1 フィールドライディングのゴール後20分以内に、当該人馬はプレゼンテーション エリアに入場しなければなりません。入場時刻を過ぎた場合はG.Oとなります。

-2 プレゼンテーション エリアが混雑している時は、入場する代わりに入場の意思を担当オフィシャルに明確に伝えてください。

【§11落馬対応】

* 1. 騎乗中のライダー、または騎乗・下馬しようとするライダーの身体が馬から離れ、ライダーの足裏（のシューズ）以外の部分が地面に接触した状態を落馬と定義します。
  2. 落馬の原因は免責事由になりません（例えば、馬具の不具合、騎乗下馬時に馬が動いた 等）。
  3. スタート前の待機時を含めアリーナ内・フィールド内で落馬した場合は、速やかに主催者に連絡してください。（自チームのスタッフ等の経由でも可）
  4. 落馬したライダーは、各賞の受賞資格を失います（参加賞がある場合は参加賞のみ可）。
  5. -1軽度の落馬、すなわち落馬後速やか（概ね2,3分内）に再騎乗できる場合は、主催者

に連絡後騎乗を続けることができます。

-2軽度の落馬でも、同一イベント内で2回目が発生した場合はG.Oとなります。

⑥-1重度の落馬、すなわち落馬後速やかに再騎乗できない場合（鐙が切れた、ヘルメット

が壊れた等の馬具破損も含む）と放馬した場合は、1回の発生でG.Oとなります。

放馬の程度は免責されません。馬がその場に留まり、すぐ確保できても放馬です。

-2 ライダーは速やかに主催者に連絡する必要がありますが、不可能である場合は他のラ

　イダーまたは付近のオフィシャルにその旨の意思表示をしてください。

-3 付近のライダーは、落馬者救済と主催者への連絡確認や二次被害回避に極力協力しな

ければなりません。ただしそのために発生したタイムロスの救済はしません。

⑦-1落馬者（ライダー）の救済は、チームのスタッフ（クルー）とオフィシャルが協力し

て行うものとします。

　-2原則的には、チームスタッフ（ライダーが引馬可能な場合はライダーでも　可）がコース内を引馬で自チームゾーン・馬房まで連れていくこととします。

【§11 オフィシャル（運営スタッフ）の名称と役割】

§11-1　実行委員長：MOSACCHIの意義・目的をよく理解したうえで、開催にあたっては

　　　　実務的に尽力することが求められます。

　　-1 MOSACCHI開催に関わる最終責任者。開催準備～終了までの間、実行委員会（主

催者）の責任に帰すべき全ての事象に関し、全ての参加者・関係者に対して責任を

持ちます。

　　-2 全ての決め事に対し最終決定権を持ちます。

-3 クレーム・トラブル発生時の対応窓口となり、事案に対し真摯に対応することが求

められます。

§11-2　チーフジャッジ：開催当日、実行委員長の指揮下に入り、実行委員長をサポート

しGAMEがスムーズで公正公平な運営となるよう尽力することが求められます。

　　-1 ルールの運用に関し、実行委員長に対し責任を持ちます。

　　-2 他のジャッジ及びアシスタントを指揮監督します。

　　-3 ルールに基づきライダーをコンプリートまたはG.Oとする権限を持ちます。

§11-3　ジャッジ：開催当日、チーフジャッジの指揮下に入り、チーフジャッジをサポー

トし、GAMEがスムーズで公正公平な運用となるよう尽力することが求められます。

　　　-1 ジャッジは、ライダーの失権事由となる現象等を発見した場合、チーフジャッジ

に情報提供と失権適用の進言をして判断を仰ぎ、チーフジャッジが失権の判定を

した場合は、当該ライダーに失権の通知をし、GAMEからの離脱を求めることが

出来ます。

　　　-2 リーディングスキルチェックを担当します。

　　　-3 ルールに従わないライダー以外の人物を退去させる権限があります。

　　　-4 ジャッジについたアシスタントを指揮監督する権限があり、アシスタントがスム

ーズに役割を果たせるようアドバイスすることが求められます。。

§11-4　アシスタント：ジャッジや獣医師の指揮下GAME進行のサポートをすることを役割とします。

§11-5　獣医師　日本の獣医師有資格者とします。

　　　-1 実行委員長の指揮下に入り、プレゼンテーションの円滑な進行に尽力することが

求められます。

　　　-2 馬体検査と歩様検査を担当し、馬の状態を判定します。

-3 GAME中・後に馬の状態に医療的処置が必要な事態が発生した場合、実行委員長

の指示のもと、当該馬に対して医療行為を他の職務に優先して行うことができます。

　　　-4 獣医師はGAME参加者に対し、馬に関する医学的・生物学的な情報提供を可能

な範囲内で行うことが求められます。

　　　-5 獣医師が複数いる場合は、そのうちの一人がチーフに任命され、チーフは他の獣

医師の取り纏めを行う責務があります。

【ライダーへの推奨】

* 1. ボディープロテクターとエアバックの二重着用を推奨します。
  2. 籠付き鐙の使用を推奨します。
  3. 万一の事故・怪我に備え、傷害保険に加入されることを推奨します。

【遵守すべき関係法令等】

**《道交法》**馬を含む軽車両は左側通行です、コース上でも適用されます。

**《動愛法》**馬を含む動物への虐待は1年以下の懲役 または 100万円以下の罰金となります。

**《感染症防止》**水壕以外の共用の水に直接馬が触れることは避けてください。

【参考事項】

**《フィールド走行 1セットのルート》**合計約8Km

競技場内のクロスカントリーコースを次の３ゾーンに分けます。

Aゾーン：競技場東側の牧草地（本部棟から見て前方～右側の区域）

Bゾーン：競技場西側の牧草地（本部棟から見て左側の区域）

Cゾーン：堰堤～藤棚の間のトレイル（小路）

スタート（障害練習馬場） ⇒ 競技場外周コースを左回り⇒ Aゾーンの道路沿いの走路 ⇒ 堰堤 ⇒ Cゾーン2周《堰堤⇒藤棚折り返し ⇒ 堰堤手前折り返し ⇒ 藤棚折り返し》 ⇒ 堰堤 ⇒ Bゾーン外周右回り ⇒ Aゾーン外周左回り ⇒ Bゾーン外周右回り ⇒ Aゾーン外周左回り ⇒ 競技場外周コースを左回りに正門方面 ⇒ゴール

別の角度から言うと、障害練習馬場を出て、外周コースからクロスカントリーコースの縁を通ってララミーさんの前を通過し、堰堤を通過し、堰堤奥⇔藤棚を2往復してから、『西側牧草地を右回り1周、東側牧草地を左回り1周』＝《牧草地で大きく8の字を描く》を2回したのち、外周コースに入って、左回りで正門方面に行き、元の地点に戻る、となります。

途中にレストエリア・ジャッジスポット・クロシング レーン・STOP LINE（一旦停止線）・

各種ハザード、歩法歩様指定ゾーンなどがあります。

**《1st.Game アリーナライディングについて》**MOSACCHI 2.0以降で実施を検討します。

　検討中のGame内容は次の通りです。

直径20mの輪乗り（約62m）で実施します。歩度を伸ばした常歩（速いほうがベター）と歩度を詰めた速歩（遅い方がベター）のタイム・軌道等をポイント化します。

**《2nd.Gameにおけるハザード/歩様・歩法ゾーン通過について》**

MOSACCHI 1.0では走行タイムのみをポイント化し、ハザードの通過は種目レベルにより任意、または、通過するのみとし、通過における人馬の質はポイント化しません。

　歩様・歩法ゾーンの通過は必須ですが、タイム等のポイント化はしません。

MOSACCHI 2.0以降でポイント化を検討します。

**《フィールドライダーたる６か条》**　MOSACCHI参加者の指針です。

1. 馬をはじめとする動物・人間・自然をリスペクトしよう
2. 馬をはじめとする動物・人間・自然を虐待・侮辱・棄損することは厳に慎もう
3. ルールを守ろう
4. 馬・他者からリスペクトされるホースマンになろう
5. そのために、不断の努力で己のホースマンシップを磨こう
6. フィールドライドを通して『人馬一心体』を目指そう

【最後に】

　MOSACCHIルールを適用・準用・アレンジして同様のGAMEを企画開催される方は、是非Field Riders Clubにご一報ください。

　お互いに情報交換などして、Field Riderのスキル向上に役立てていければいいかな、と、思っております。

本編の無断での転載・使用は禁止します。

事務局　 tel:080-1156-2571

mail:firc@umatomoclub.com

著作・作成者：福田晋